



自治基本条例通信(第9回)

白河市自治基本条例を考える市民会議活動中!

白河市自治基本条例を考える市民会議活動中/ご応募ありがとうございました/今年の市民会議の予定



▲第11回市民会議の様子

■白河市自治基本条例を考える市民会議活動中!

12月5日・19日に、白河市自治基本条例を考える市民会議(以下、市民会議)の第11回および第12回が開催されました。

先月に引き続き、これまでの検討を基に、自治基本条例素案の中間取りまとめの作業を行い、活発な議論が交わされました。1月中旬に中間取りまとめ(案)の完成を目指し、引き続き検討を進めています。

※市民会議の資料や会議録は市ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

■ご応募ありがとうございました!

前回の自治基本条例通信で募集した「白河市自治基本条例を考える市民会議出張出前トーク!!」の実施先について、たくさんのご応募をいただきました。ありがとうございます。

条例素案の中間取りまとめ(案)が出来次第、2月から3月上旬を目途に、応募していただいた皆さんのところにお伺いし、条例素案中間取りまとめ(案)の内容説明や、意見交換を行います。

■問い合わせ先

1 本庁舎企画政策課 ☎1111
2
3
4



また、市民会議では、今回の出張出前トーク以外にも、市民の皆さんのご意見を伺う機会を設ける準備を進めていきます。その際は、ぜひご参加ください。

今年の市民会議の予定

- 〈1月〉 条例素案中間取りまとめ(案)の完成
- 〈2月~3月上旬〉 「白河市自治基本条例を考える市民会議出張出前トーク!!」の実施
- 〈3月下旬〉 条例素案中間取りまとめの完成
- 〈8月~9月〉 条例素案の完成、市長への提出

※条例素案の提出後、市が条例素案の内容をもとに条例案を作成し、市議会へ提案する予定です。



今月のお題は、「市民文化会館建設検討委員会」です。

市民文化会館建設へ向けて動き出しました

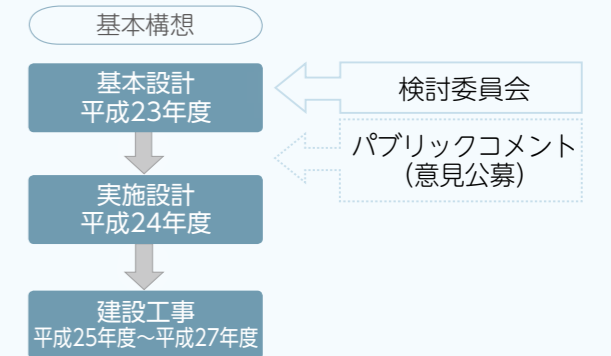
白河市民会館は、昭和39年の開館以来、市民の文化芸術活動の中心としてその役割を担ってきました。しかし、47年が経過し、施設の老朽化、さらには震災による影響などにより、新たな文化芸術振興の拠点となる施設を整備することになりました。



今回は、「市民文化会館建設検討委員会」についてお知らせします。

検討委員会は、「市民文化会館基本構想」を踏まえ、市民文化会館の望まれる施設像について、様々な立場からご意見をいただき、基本設計に反映させることを目的に設置しています。メンバーは、市内各種団体の代表者、公募委員からなる12人で構成され、11月に第1回目の委員会が開催されました。

《今後のスケジュール(予定)》



◆「市民文化会館基本構想」(平成23年10月策定)
「絆~創造と交流が奏でる感動の舞台」を基本理念とし、これを実現するため、「紡ぐ」「練る」「継ぐ」「結ぶ」「編む」をテーマとした5つの柱を定め、理想とする施設構成、整備方針について示しています。

委員にお話しを伺いました



「障がい者でも足を運びたい施設になって欲しい」
ありがねはる 有賀常晴さん
(白河市身体障がい者福祉会)

10年ほど前に障がいを持ってからは、今の市民会館は不便で、ほとんど利用しなくなりました。歌謡ショーが好きなので、時々、他の施設に演奏を聴きに行くこともありますが、施設が立派でも、車いす席があまり利用されていない様子を見ると、残念に感じます。障がい者の方でも足を運びたいような施設になって欲しいです。

先日視察で訪問したいわき市のアリオスは、手すりやゴムで冷たくなく、配慮のある施設だと感じました。私の視点が少しでもお役に立てればと考えています。



「新しい施設で子どもたちと発表をするのが楽しみ」
じゅうもんじりっこ 十文字律子さん
(公募委員)

現在、子育て休業中ですが、役者として長く演劇の舞台に立っていた経験から、何かお役に立てるのではないかと思います。良いホールが出来れば、白河を訪れる人も増え、白河が新しい文化の発信地になると思います。

また、市民が優れた舞台芸術に触れる機会を持てる場になれば、人々の視野も広がり、楽しみも増え、まちに活気が出るのではないのでしょうか。

将来、子どもたちと一緒に作品を創り発表することを、今から楽しみにしながら、委員会に参加しています。

☆委員会の内容は、市ホームページで公開しています。

☎本庁舎まちづくり推進課 ☎1111 内2743